
餓鬼

嘩月 - ka「d/z」uki -

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

餓鬼

【Nコード】

N2301J

【作者名】

嘩月 - k a 「 d / z 」 u k i -

【あらすじ】

- - - - -

疵口が開いてしまった 血液溢れる
絆創膏ではどうも小さい様だ
ならばガーゼと包帯を
消毒液が無いので 膿になるのは免れないが

疵付けたのは何ですか
気付けたのはいつですか

時が経てば経つ程 忘れていく（痛みからの逃避）

包帯塗れの 恐怖で萎縮した核
疵だらけで痛々しいね
案外疵つてもものは治らないらしい

また疵 また開く
鋭利な凶器による残酷鮮血Show
治すより早く 疵ができるのです……

痛い痛いと言き叫んだ
辛い辛いと言鬼喚いた
「ただの屁理屈」気付いていた

稚拙な疵疼き 掻き篁り皮を剥いだ

疵口が開いてしまった 血液溢れる
絆創膏ではどうも小さい様だ
ならばガーゼと包帯を

消毒液が無いので 膿になるのは免れないが

疵口が開いてしまった 涙が溢れる
慰め声ではどうも足りない様だ
ならば怒りと欲情を
鎮静剤が無いので 罪になるのは免れないが

餓鬼の核は痛がり上手で疼き上手
根深い疵 いつまでも痒く

ついに核は吐き出し 静かな黒い疵がまた増えた
今は暗い部屋で餓鬼は笑っている
解放の日を待ちながら

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2301j/>

餓鬼

2011年1月26日04時50分発行